

**平成28年度
第2回
関市総合計画審議会
会議録**

(平成28年12月21日)

関市総合計画審議会

1 日 時

平成28年12月21日（水曜日） 10時～12時

2 場 所

関市役所6階 6—2会議室

3 出席者

委員（14名）

（敬称略、順不同）

区 分	氏 名	選 出 団 体 名
2号委員	岩井 憲司	関市自治会連合会
〃	澤井 基光	関市社会福祉協議会
〃	塚原 佳人	関市消防団
〃	石丸 継治	関市老人クラブ連合会
〃	栗倉 元臣	関商工会議所
〃	鈴木 良春	岐阜県関刃物産業連合会
〃	山田 和正	関青年会議所
〃	武藤 記子	ほらど未来まちづくり委員会
〃	長屋 久直	板取まちづくり委員会
〃	古田 明	武芸川まちづくり委員会
3号委員	◎ 田村 弘司	中部学院大学
〃	山岡 一清	岐阜医療科学大学
4号委員	高井 澄恵	公募
〃	波多野 文香	公募

◎：会長

事務局（関市 6名）

企画部長 桜田 公明 企画政策課長 森川 哲也
企画政策課 山田 壽紀 長屋 高浩 深川 理代 西村 諒子

4 欠席者

委員（6名）

（敬称略、順不同）

区 分	氏 名	選 出 団 体 名
1号委員	大澤 慶一	関市農業委員会
〃	田中 彰	関市教育委員会
2号委員	杉山 道夫	関市青少年健全育成協議会
〃	安田 美紀子	関市地域女性の会連合会
〃	馬淵 美智子	NPO 法人 日本平成村
〃	小森 恵子	社会福祉協議会上之保支部

5 次 第

1 開会あいさつ

2 会長あいさつ

<議題>

3 関市第5次総合計画 基本構想（案）について

4 閉会あいさつ

午前 10 時開会

1 開会あいさつ

< 関市民憲章の唱和 >

< 事務局より、総合計画審議会の設置条例第 6 条第 2 項の規定により審議会の成立の報告 >

2 会長あいさつ

(会長)

師走も押し迫り、10 日ほどで年が明けるという大変お忙しい時期にお集まりいただいた。本日は、とても暖かく、御岳山の雪を被った雄姿が綺麗に浮かび上がって見えた。関市は、自然が多く、いいところだと思っている。

話が変わるが、今年、『君の名は。』というアニメ映画が流行し、中国でも流行っていると聞く。初めてこのタイトルを聞いたとき、昔に流行った映画かと思ったが、違ったようである。岐阜県の飛騨古川を舞台にしているそう。私は、今、大垣市に住んでいるが、こちらは『聲の形』というアニメ映画の舞台である。『君の名は。』に隠れているが、地元ではヒットしている。大垣のまちを歩いている、リュックを背負ってカメラを片手に持った観光客がとても多い。やはり、県外から人が集まると地元も元気になる。関市でも、「モネの池」が話題になった。色々なところから色々な人に訪れてもらうことはとても大事である。高齢化、少子化が進んでいる中で、関市が注目され、人が集まり、元気の出るまちになるような総合計画にできればと、改めて思いながら、今日は出席させてもらった。

委員の皆さまからいただいたご意見、市民の皆さまからいただいたご意見を元に、事務局で基本構想の案をつくっていただいた。今日は、その案についてご検討していただくことになる。積極的にご意見をいただければと思う。よろしく願いしたい。

(事務局)

前回の審議会の会議録をお配りする。7 ページを見ていただきたい。委員から美濃加茂市、可児市の人口増加の要因は何かというご質問があり、私ども事務局は「名古屋への通勤のしやすさと、外国人居住者の増加が要因だと思うが、次回、詳細な資料を示させていただく」と返答させてもらった。ここで、美濃加茂市、可児市、瑞穂市など、近隣市の人口の状況について説明させていただく。

< 事務局より、近隣市の人口の状況について説明 >

(事務局)

以上が、前回いただいた宿題についてのお答えである。この件についてのご質問は、資料の中に関市の人口ビジョンなどもあるため、その際に一緒にお受けしたいと思う。では、これ以降の進行については会長にお願いする。

(会長)

前回の宿題についての回答をいただいた。この件についてのご質問は、議事の中でおっしゃっていただければと思う。

<議事録署名者決定>

議題

3 関市第5次総合計画 基本構想（案）について

(会長)

では、議題3 関市第5次総合計画 基本構想（案）について、事務局より説明をお願いします。ボリュームがあるため、次第に従いながら、各章で区切って順次説明をしていただきたい。

<事務局より、議題（1）～（5）について資料1、資料2、資料3に基づき説明>

(会長)

相当ボリュームがあるので、説明に時間がかかった。あまり時間がないが、全体を通してご意見を伺いたい。

確認だが、この後、最終までに何回審議会があるのか。

(事務局)

次回の審議会は、年度内の3月を予定している。56ページから最後まで部分を、もう一度ご審議いただく予定である。来年度の6月くらいには最終的なものをまとめ、9月の議会にかけたいと思っている。

(会長)

では、3月の審議会までに、もう一度ご検討いただければと思うが、今日は、せっかくの時間なので、委員の皆さまからご意見を出していただければと思う。

(委員)

60ページから、今後の方針についての政策をいくつか挙げられているが、優先順位

はあるのか。また、重点的に行う政策はあるのか。

(事務局)

基本構想の中では、優先順位を設定していない。基本構想の下に、基本計画がある。その中で、重点プロジェクトもしくは協働プロジェクトというプロジェクトを設定し、優先的に力を入れて取り組んでいく予定である。

(委員)

2時間のうち1時間45分が事務局からの説明で終わってしまった。審議会には、各代表の委員の方がたくさんいらっしゃるなので、やはりご意見をいただく時間をつくってもらいたい。また、事務局からの説明は、書かれていること読んでいるのがほとんどであり、書かれている内容も、各部署で今後取り組んでいくことを挙げているだけである。先ほど、委員が言われたが、何に力を入れていくのかが見えにくい。その辺りをご理解いただき、次回の審議会を実施してもらいたい。

(会長)

最後に、会長の立場からもそれを事務局にお願いしようと思っていたところである。資料の中に、カタカナの表記が何点か出てくるが、一般市民の方が読まれることから、分かりにくい言葉には注釈がある方がいいと思う。ダイバーシティ、インバウンド、D I Dなどは、難しいのではないかと。どこかに注釈を入れていただきたい。

(委員)

私は学生の立場だが、私たちの世代、20代は子育てに関するニーズが大きいと思う。また、高齢者の方は車を持っていなかったり、運転できるとも限らないので、公共交通機関が大事になってくると思う。若い人にとっても、市内だけでなく市外に出ていく機会が多いと思うので、公共交通網は充実してほしい。これは、私個人の意見でもあるが、周りからも、生活している中で一番聞かれる要望である。そのようなニーズが入っている計画だったので、詳細ができれば、また説明をお聞きしたいと思った。

(委員)

今の資料と説明の中では、「進めます」「推進します」「行います」「図ります」という表現が多いが、今後一つずつの政策について審議し、肉付けできればと思う。この審議会において、政策に優先順位を付け、10年、20年先を見据えた具体的な方向づけをしていきたい。

前回出た質問についての資料から、美濃加茂市、可児市、瑞穂市は、交通機関などが整い、名古屋との交流もあるので、人口が非常に伸びていることが分かった。関市が目指すところも、原点は、子育てしやすい、住みやすいまちである。生活が大変なので、子どもを何人も育てられないという項目もあった。産業・経済がしっかりして、

そこで働く人たちの所得と生活水準が上げれば、必ず克服でき、子どもの人数も増えると思う。そのようなことを考えると、名古屋圏から工場を誘致し、そこで働く人たちの増やしたい。少子高齢化が進むと、労働力が低下し、産業が低下し、経済的にも低下してしまう。そのような根本的なところを、今後10年、20年で関市はどうするのか。名古屋のベッドタウン化、工場誘致などの方向性を、ある程度求めていってもいいのではないか。また、関市の地場産業や、文化財や史跡などの観光資源としたインバウンドも活用しながら、関市の産業経済力を高めていけるような方針を第5次総合計画の中でつくっていかねばならないと感じた。

今後、計画を策定するにあたって、皆さまのお知恵や情報を出していただきたい。また、高齢者の中には、地域産業や歴史をよく知っている方がいらっしゃる。そのような方の力も借りながら、進めていただければと思う。

(委員)

送られてきた資料が多くて驚いた。時間をかけて色々な説明をしていただき、基本政策が分かったので、説明していただいた時間も無駄ではなかったと思う。総合計画の審議会には、何期か参加させていただいているが、毎回、マンネリ化しない関市はすごいと思う。基本政策やプロジェクトが、たくさんの市民の声からできているのも素晴らしい。前向きに、色々な政策について深く考えていらっしゃると感じる。この後につくられるプロジェクトについても、楽しみにしている。私自身、子どもが関市から出てしまい、夫と二人になった。今後、子どもたちにも帰ってきてほしいという思いがあるので、関市には頑張ってもらいたい。産業や就職先もつくっていかないと、子どもたちは帰ってきてくれない。地域を元気にするためにも、観光も頑張っていたきたい。もちろん、関市まかせではなく、自分たち、地域も頑張らないといけないと思う。

(会長)

他にご意見はないか。事前に資料をいただいているので、色々な思いがありながら、参加をしていただいていると思う。また、3月に審議会があるので、そこで最終的にご意見をいただきたい。3月も、事前に資料を送付していただけるようなので、よく読んでいただきたい。事務局側の説明も、コンパクトにお願いしたい。

関市には、色々な委員会があるが、この総合計画審議会が一番大きなものになる。ここから、色々な委員会に下りていくので、重要な審議会である。そこをお互いに認識しながら、次回に向けて、頑張っていたいただければと思う。

では、進行を事務局にお返しする。

(事務局)

会長、ありがとうございました。

今日は、政策へ導くまでの課題を中心に説明させていただいた。その辺りをご理解

いただければと思う。次回は、もう少しコンパクトにご説明し、今後の10年間の政策を中心にご議論いただきたいと考えている。

最後に、企画部長より、ご挨拶を申し上げます。

4 閉会あいさつ

(企画部長)

長時間に渡り、ありがとうございました。

ご意見にもあったが、今回は説明が非常に長く、ご意見をいただく時間がなかった。次回は改善をし、皆さまからご意見をいただけるような説明をできればと思う。

今回、関市全体の事業についてアンケートやワークショップ、ヒアリングなどを実施し、課題が出てきた。それをまとめたため、ボリュームがあるものになってしまった。これを受けて、今後、どのような計画をつくるかが大事なところである。その部分については、最後に少しご説明したが、次回の審議会においても、皆さんからご意見をいただきたい。

第5次総合計画は、「人」「地域」「暮らし」の大きく3つの柱の下に、6つの施策がぶら下がる形にしたい。さらに、行政運営が1つプラスされる。この形については、また、ご意見をいただければと思っている。第4次と第5次で変えたところは、6つの施策と1つの行政運営が、組織と整合しているというところである。各課の行っている事業を、総合計画の施策に入れているので、PDCAが回ることで、各課の仕事ぶりを見ることができ、達成できたかどうか分かりやすくなる。もう1点、ご意見をいただきたいのは人口の目標値についてである。地方創生でも人口ビジョンをつくったが、それよりも国勢調査が500人ほど減少しているらしい。そのため、10年先は約83,000人という推計になる。ただ、市長から、そのままの数字ではなく、夢や期待も込めて85,000人くらいの目標値を設定してはどうかという意見があった。これについても、次回ご意見をいただければと思う。

関市の一番大元となる、今後10年を決める大事な計画である。皆さまからのご意見をしっかりといただけるように、次回からも進めていきたいと思う。よろしくお願いを申し上げ、御礼とさせていただきます。本日は、ありがとうございました。

12時00分閉会